

2012年 下期 の中小企業の景況見通し

～「中小企業景況調査」（2012年6月）の付帯調査結果～

- 2012年下期（2012年7～12月）の中小企業の業況判断DI（前年同期比）は3.9と、2012年上期（2012年1～6月）に比べて3.4ポイント低下する見通し。
需要分野別にみると、7分野中5分野が低下の見通しで、特に乗用車関連の低下幅が大きい。
- 経営上の不安要素として、「原材料価格、燃料コストの高騰」「為替相場の変動」などの割合が上昇している。
- 2012年下期に注力する分野として、「販売価格の引上げ、コストダウン」「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」などの割合が上昇している。

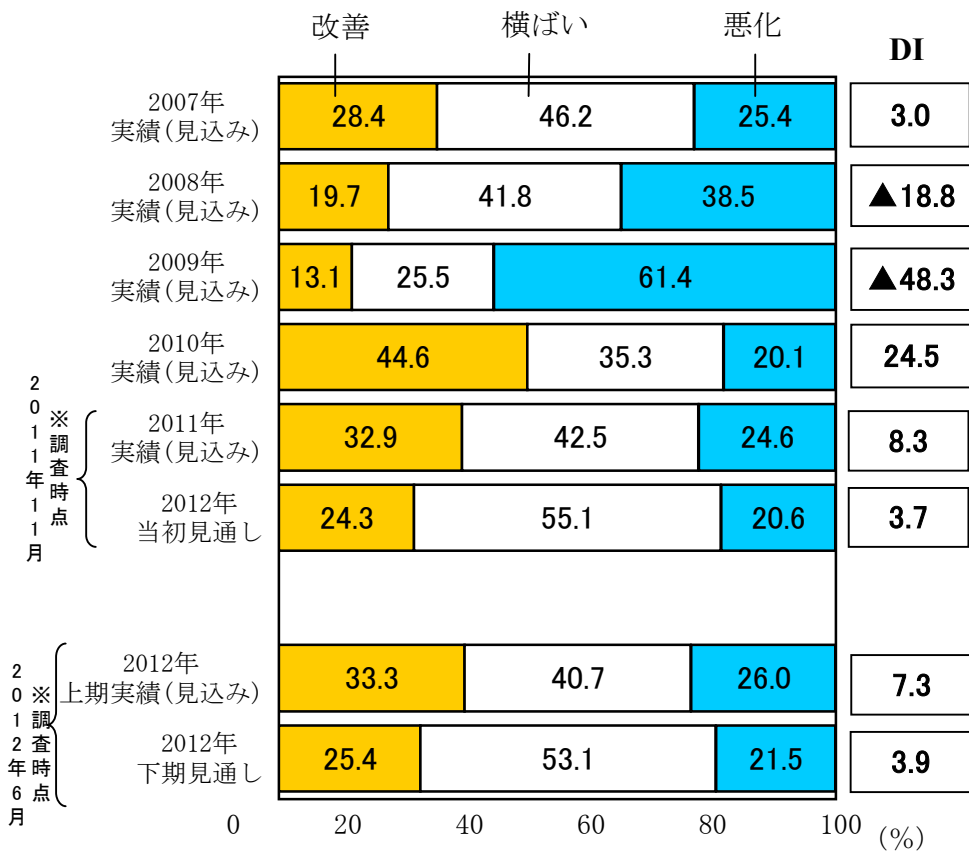
調査の要領	調査時点	<p><u>2012年6月中旬</u></p> <p>※今回調査では、2012年上期（2012年1月～6月）の実績（見込み）と、2012年下期（2012年7月～12月）の見通しについて尋ねている。 比較対象としている2011年実績（見込み）および2012年当初見通しの調査時点は、2011年11月中旬。</p>
	調査対象 有効回答企業数	<p><u>三大都市圏</u>の当公庫取引先900社（首都圏454社、中京圏140社、近畿圏306社）</p> <p>599社</p>
	回答率	66.6%

<お問い合わせ先>
東京都千代田区大手町1-8-2
株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ
(担当：桑本、武士俣) TEL：03(3270)1763

1 業況判断の見通し

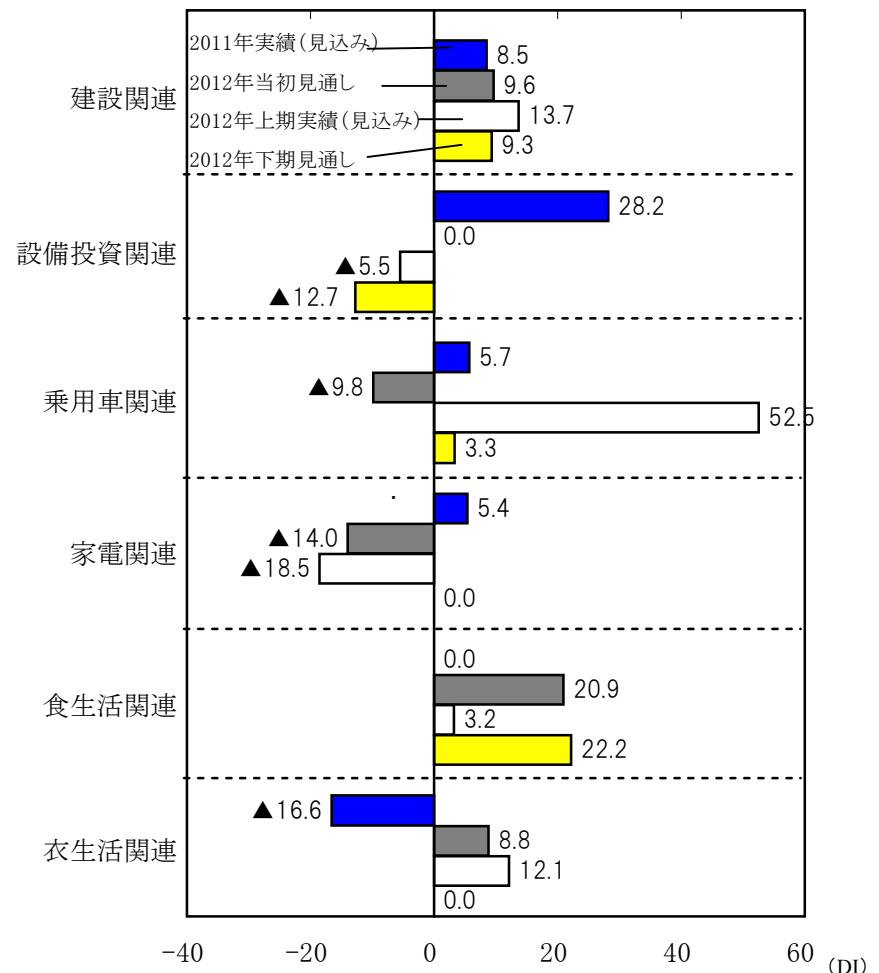
- 2012年上期（2012年1～6月）の業況判断DIは7.3と、2012年当初見通しから3.6ポイント上昇。
- 2012年下期（2012年7～12月）の業況判断DIは3.9と、2012年上期実績（見込み）から3.4ポイント低下する見通し。
- 2012年下期の業況判断DIを需要分野別にみると、7分野中5分野が低下の見通しで、特に乗用車関連の低下幅が大きい。

図－1 業況判断（前年同期比）



(注) 1 業況判断DIは前年同期比で「改善」－「悪化」企業割合。
 2 2011年実績（見込み）および2012年当初見通しは、2011年11月調査時点の結果（以下同じ）。

<参考> 需要分野別の業況判断DI

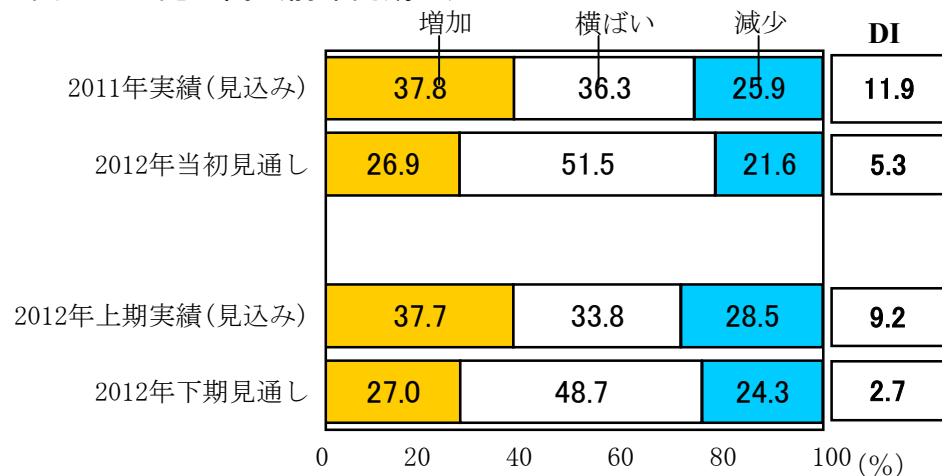


(注) 各企業が取り扱う製品のうち、最もウエイトの大きいものの最終需要先別に集計（以下同じ）。

2 売上高・収益の見通し

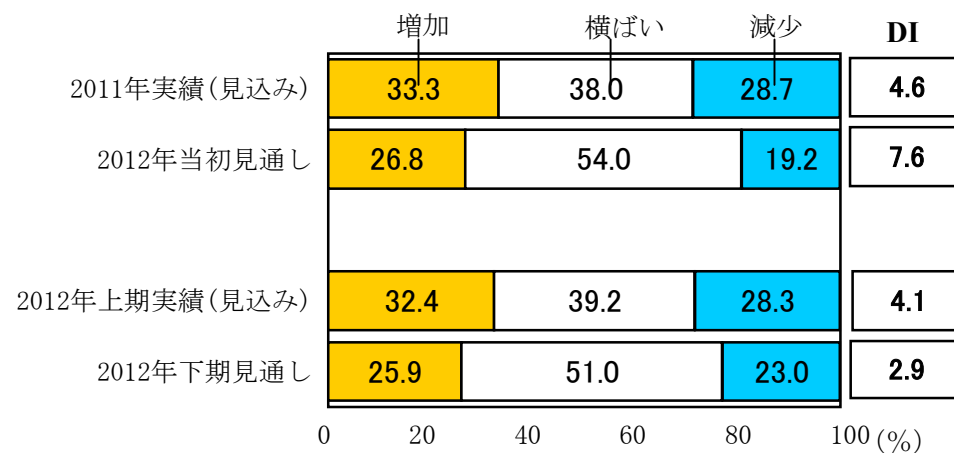
- 2012年下期の売上高DIは2.7と、2012年上期実績（見込み）から6.5ポイント低下する見通し。
- 2012年下期の経常利益額DIは2.9と、2012年上期実績（見込み）から1.2ポイント低下する見通し。

図－2 売上高（前年同期比）



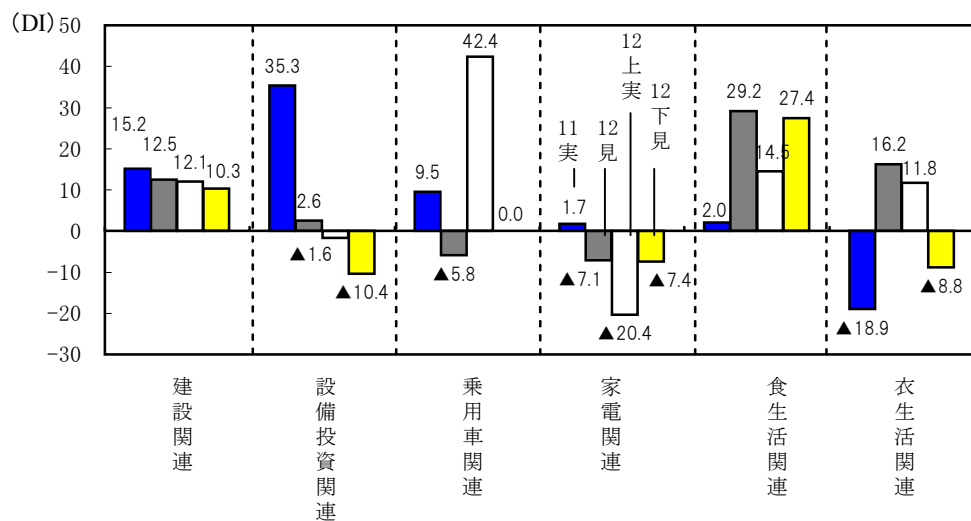
（注）売上高DIは前年同期比で「増加」－「減少」企業割合。

図－3 経常利益額（前年同期比）

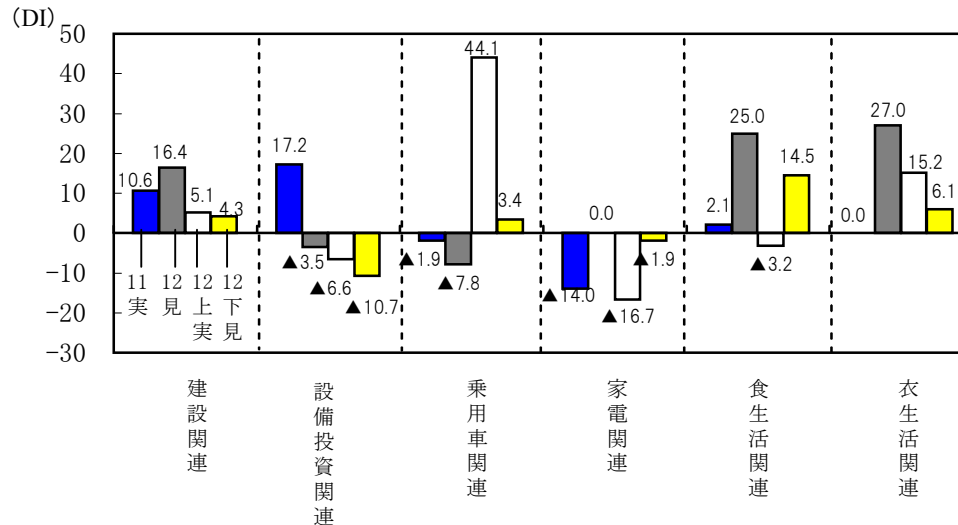


（注）経常利益額DIは前年同期比で「増加」－「減少」企業割合。

<参考> 需要分野別の売上高DI



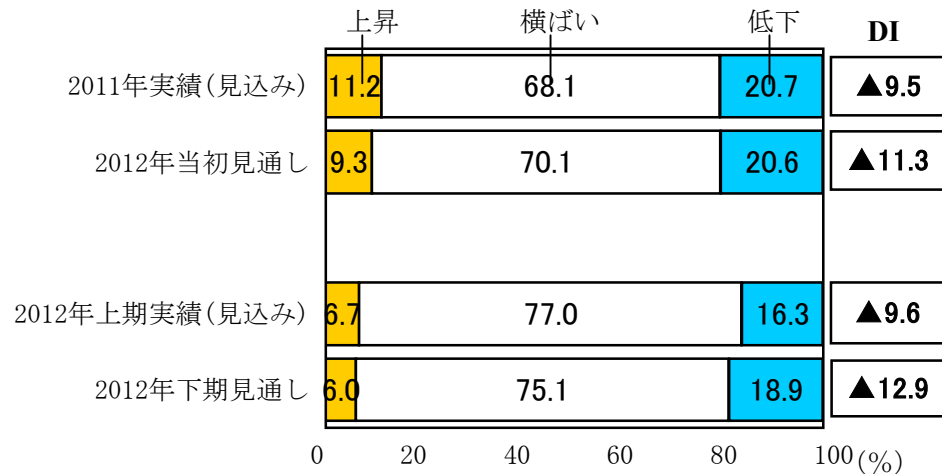
<参考> 需要分野別の経常利益額DI



3 価格の見通し

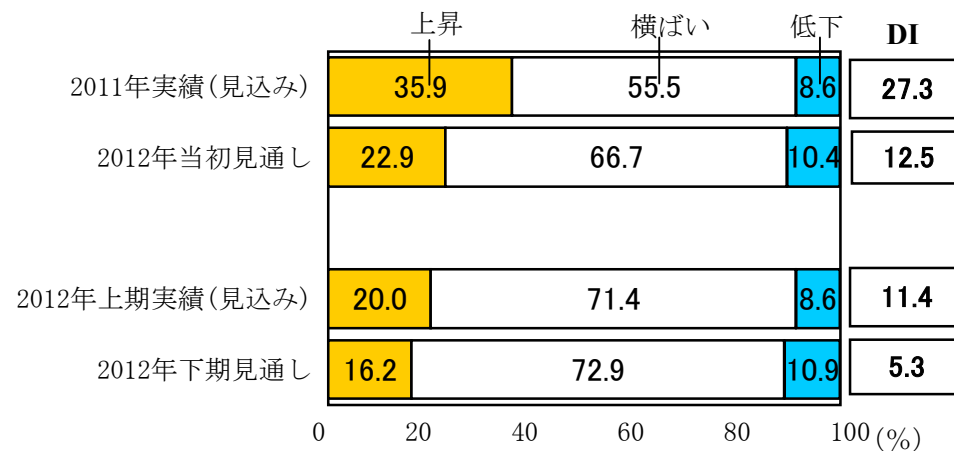
- 2012年下期の販売価格DIは▲12.9と、2012年上期実績（見込み）から3.3ポイント低下する見通し。
- 2012年下期の仕入価格DIは5.3と、2012年上期実績（見込み）から6.1ポイント低下する見通し。

図-4 販売価格（前年同期比）



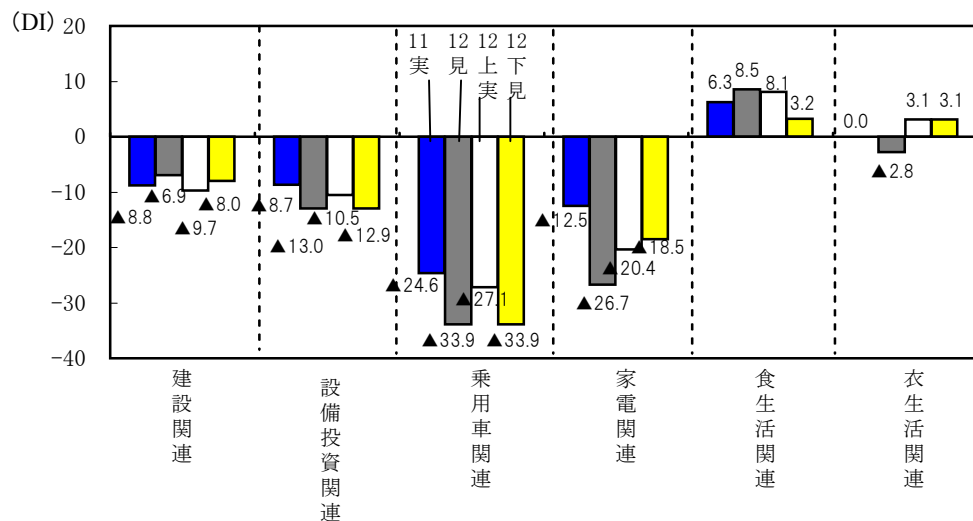
(注) 販売価格DIは前年同期比で「上昇」－「低下」企業割合。

図-5 仕入価格（前年同期比）

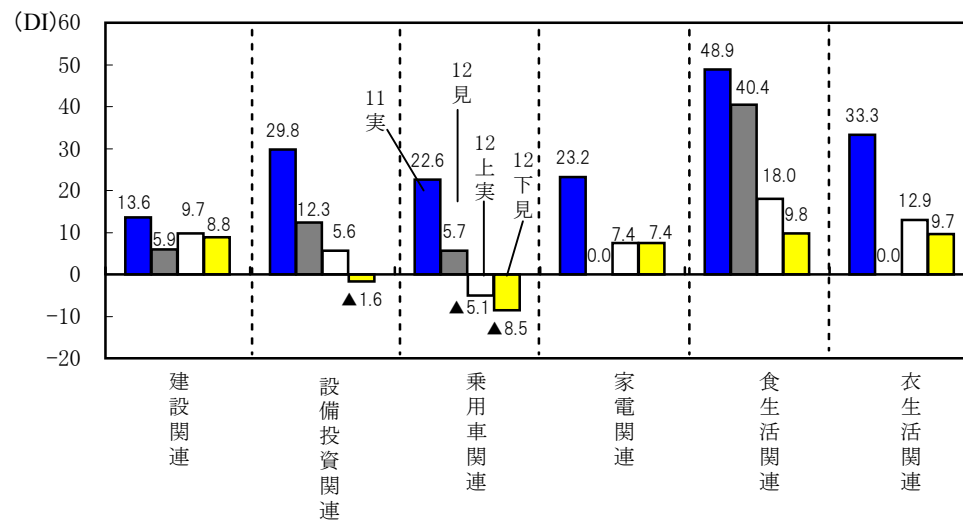


(注) 仕入価格DIは前年同期比で「上昇」－「低下」企業割合。

<参考> 需要分野別の販売価格DI



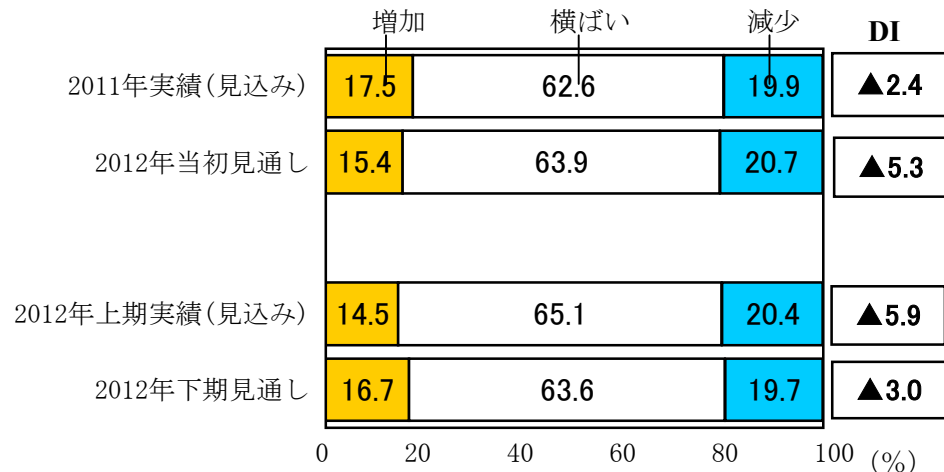
<参考> 需要分野別の仕入価格DI



4 設備投資・雇用の見通し

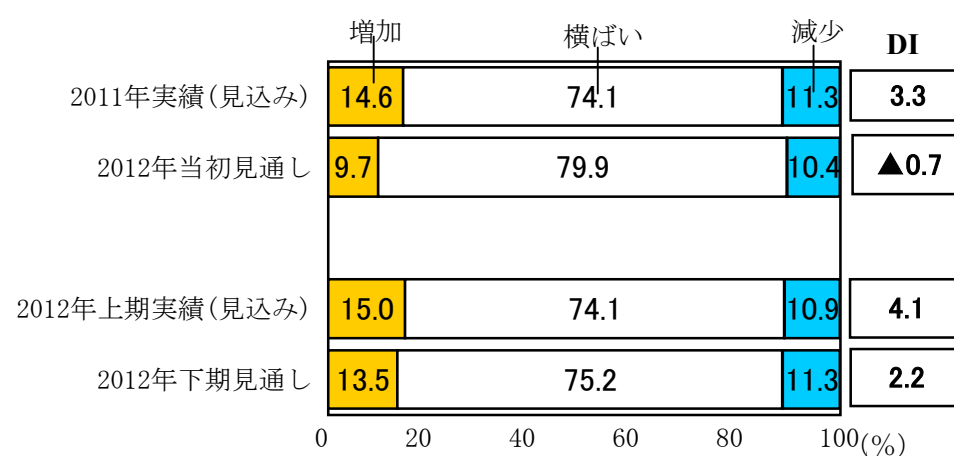
- 2012年下期の設備投資額DIは▲3.0と、2012年上期実績（見込み）から2.9ポイント低下する見通し。
- 2012年下期の従業員数DIは2.2と、2012年上期実績（見込み）から1.9ポイント低下する見通し。

図－6 設備投資額（前年同期比）



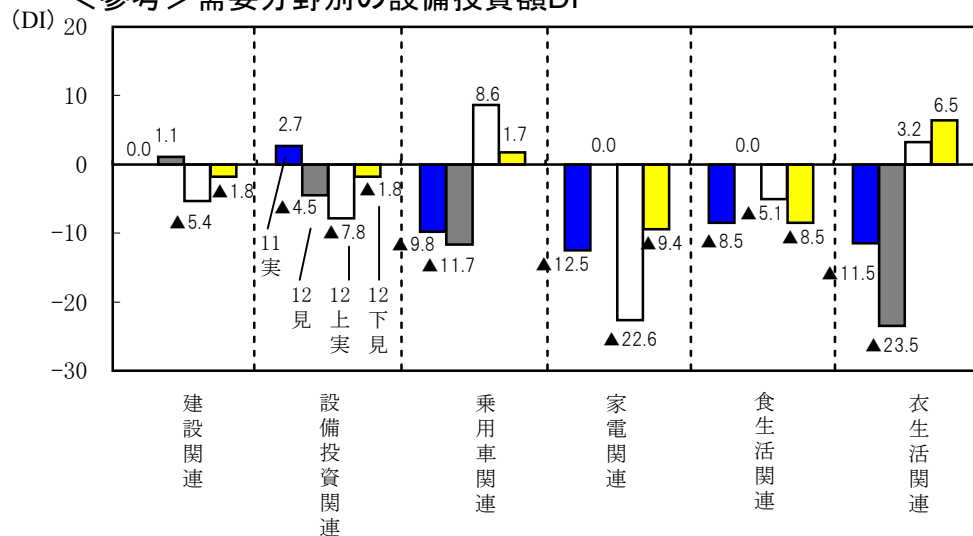
(注) 設備投資額DIは前年同期比で「増加」－「減少」企業割合。

図－7 従業員数（前年同期比）

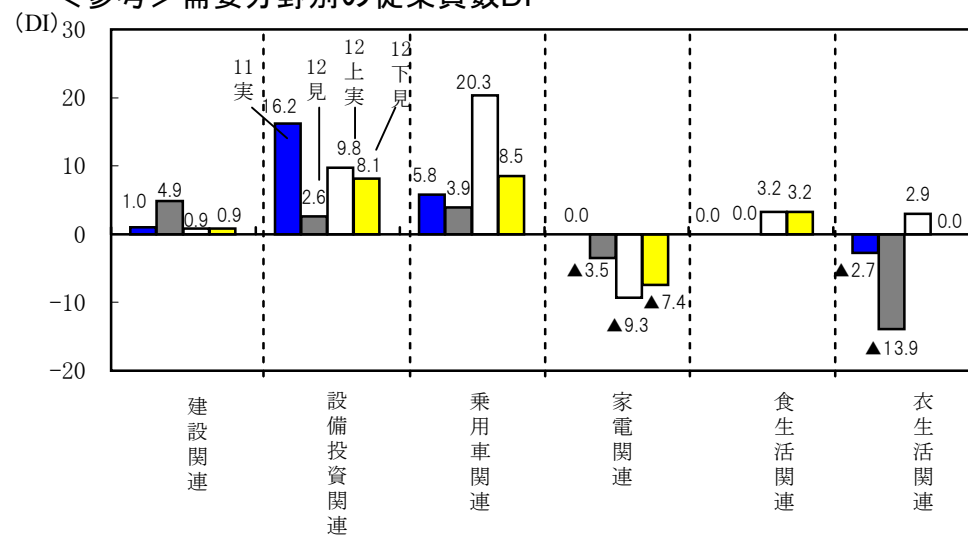


(注) 従業員数DIは前年同期比で「増加」－「減少」企業割合。

<参考> 需要分野別の設備投資額DI



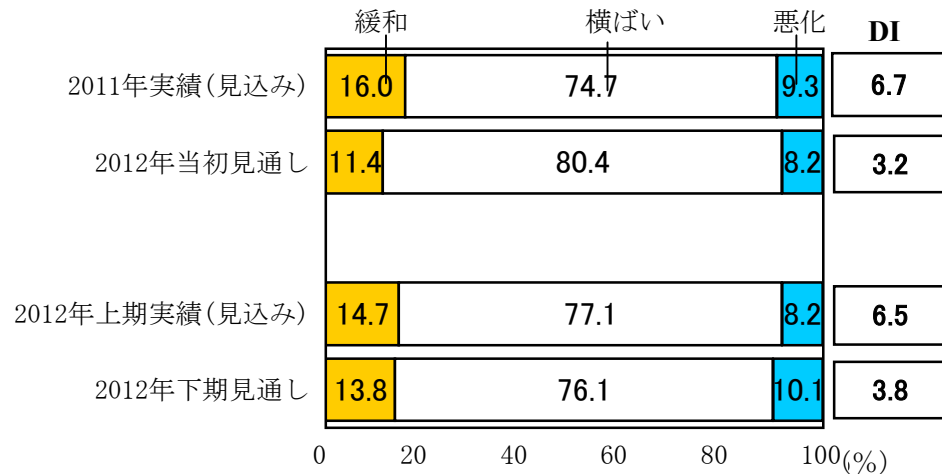
<参考> 需要分野別の従業員数DI



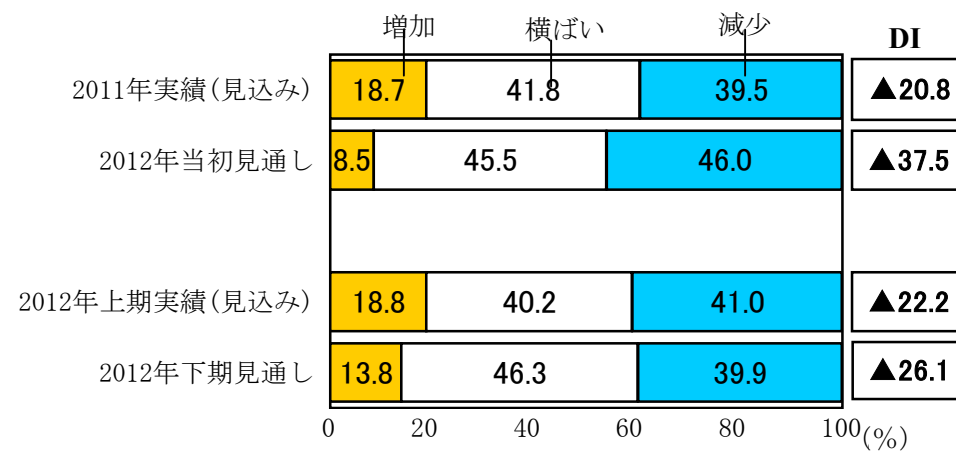
5 金融の見通し

- 2012年下期の資金繰りDI、貸出態度DI、借入残高DIは、2012年上期実績（見込み）より低下する見通し。
- 2012年下期の借入金利DIは、2012年上期実績（見込み）より上昇する見通し。

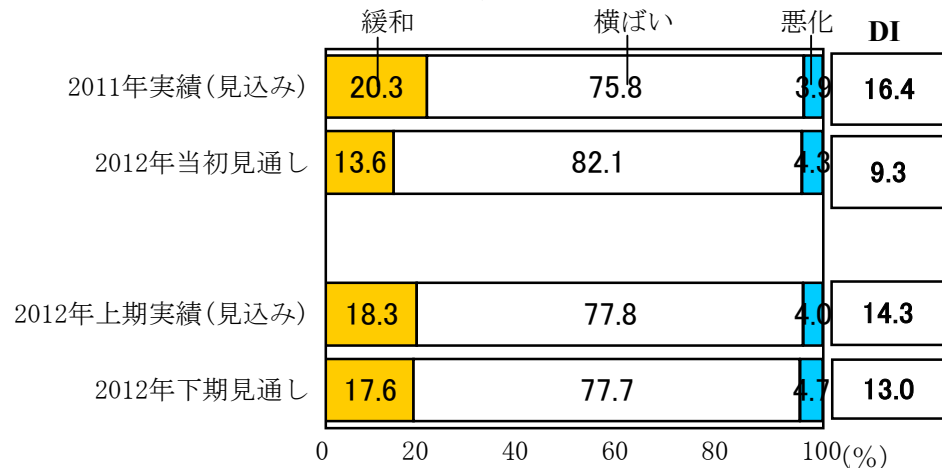
図－8－1 資金繰り（前年同期比）



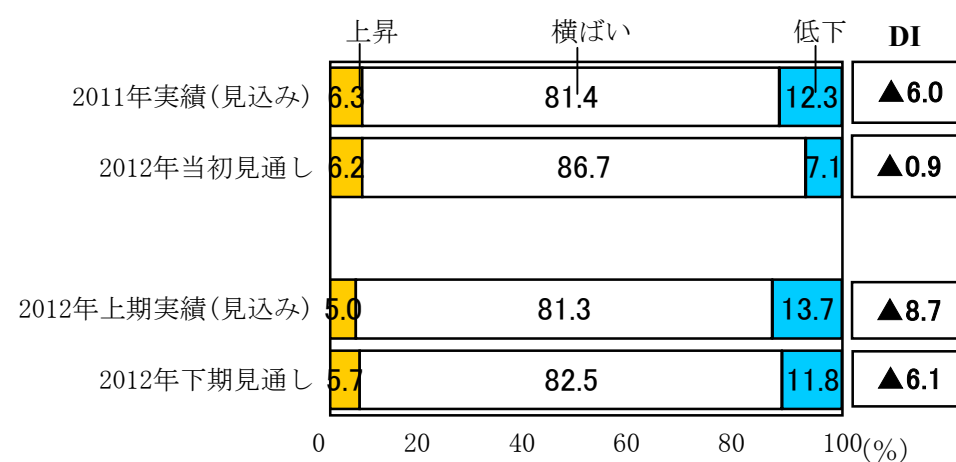
図－8－3 金融機関からの借入残高（前年同期比）



図－8－2 メイン金融機関の貸出態度（前年同期比）



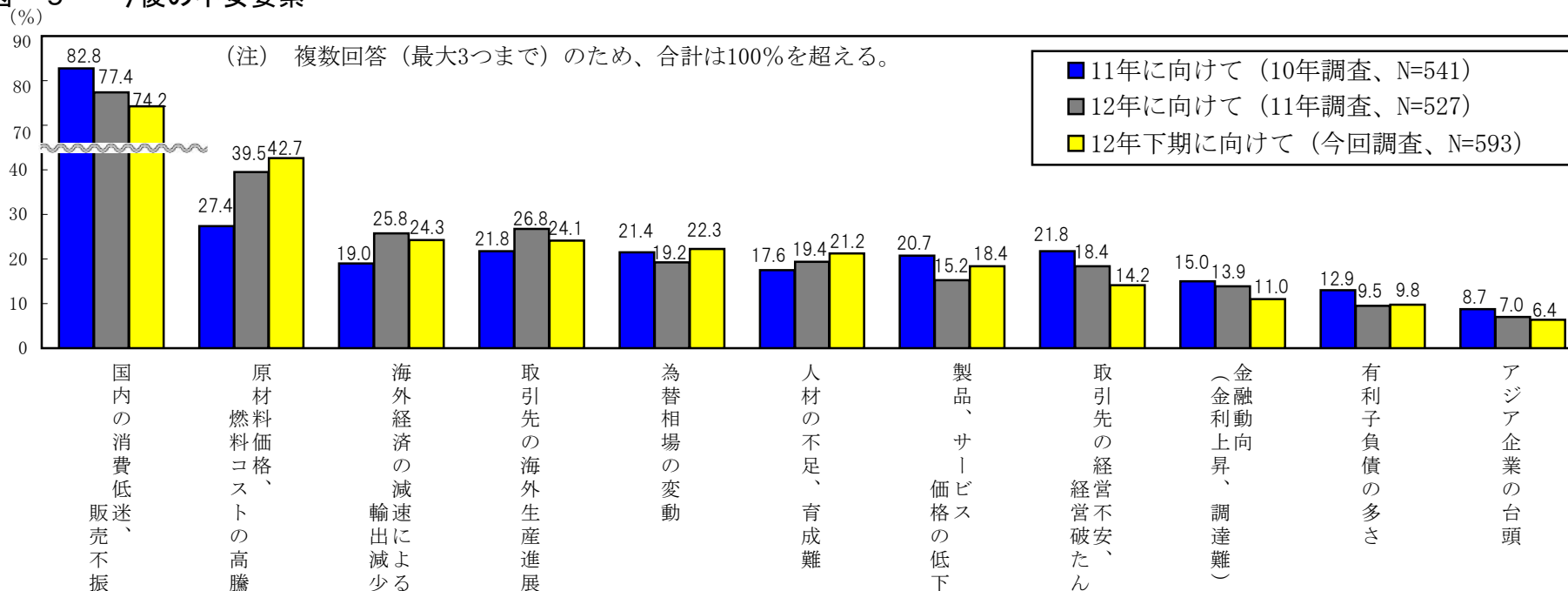
図－8－4 借入金利（前年同期比）



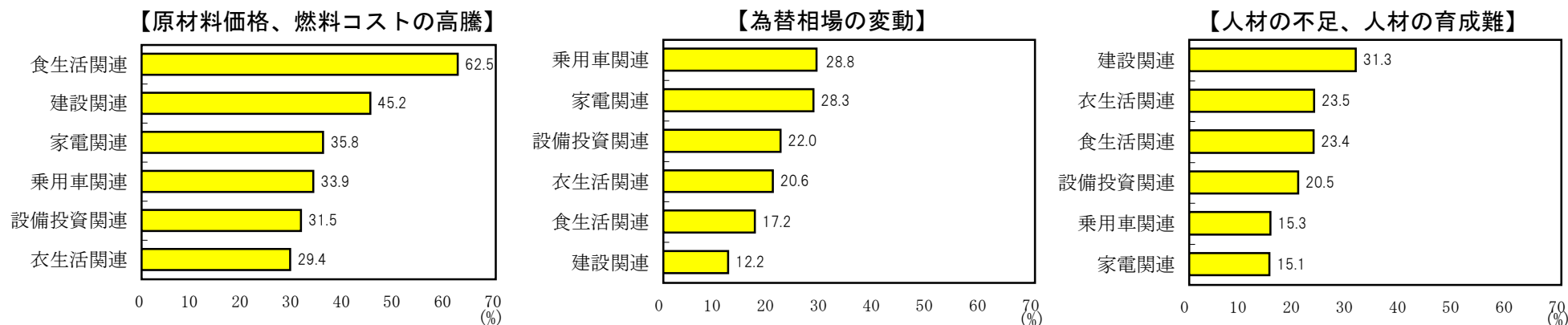
6 経営上の不安要素

- 2012年下期に向けての不安要素は、「国内の消費低迷・販売不振」が低下しているものの、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 一方、「原材料価格、燃料コストの高騰」「為替相場の変動」「人材の不足、育成難」などの割合が、2012年当初見通しに比べ上昇している。

図-9 今後の不安要素



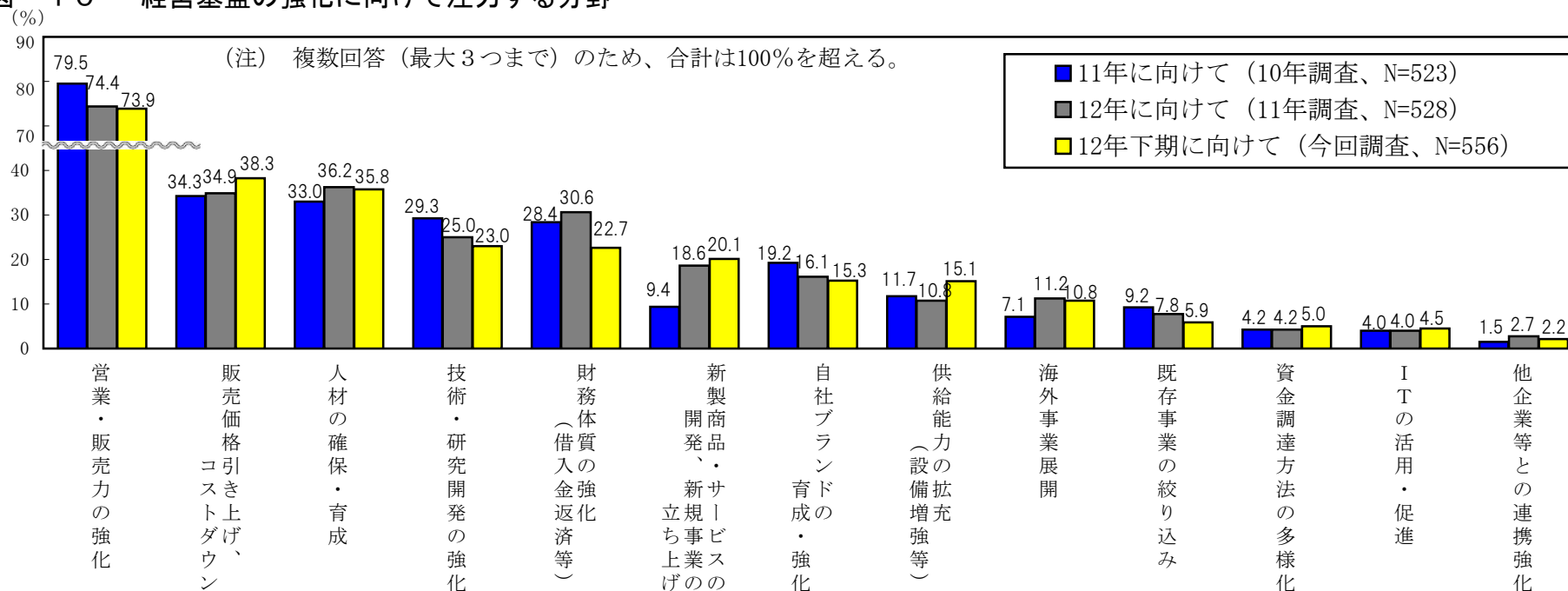
<参考> 需要分野別 (2012年下期、割合の高い分野順)



7 経営基盤の強化に向けて注力する分野

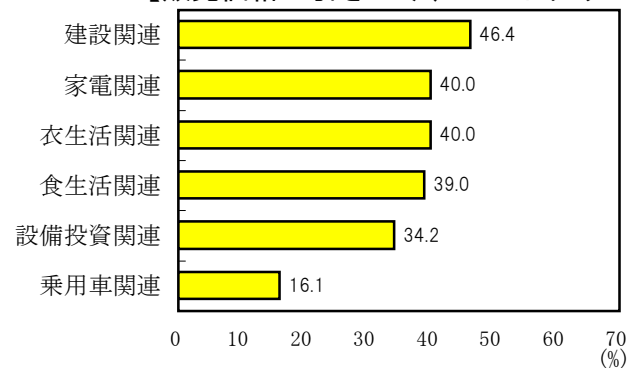
- 2012年下期に注力する分野は、「営業・販売力の強化」が、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 「販売価格引き上げ、コストダウン」「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」「供給能力の拡充」などの割合が、2012年当初見通しに比べ上昇している。

図-10 経営基盤の強化に向けて注力する分野

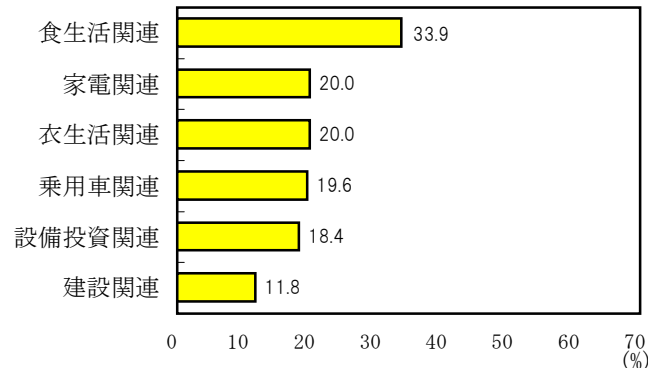


<参考> 需要分野別 (2012年下期、割合の高い分野順)

【販売価格の引き上げ、コストダウン】



【新製商品・サービスの開発など】



【供給能力の拡充】

